

中部の金型産業

PR

金型は「産業のマザーツール」とも呼ばれ、工業製品の量産に欠かせない。自動車、工作機械、精密機械など、モノづくりの土台を支えている。中でも金型の主要な需要先である自動車産業が集積する中部地区は、金型産業も盛んな地域だ。しかし、電気自動車（EV）化による内燃機関の生産は減少傾向にあり、受注が大きく減少した金型メーカーも多い。従業員10人以下の小規模事業者が業界の多くを占める金型産業では、廃業も相次ぐ。市場のニーズに対応するには、業界全体の意識改革が必要となる。

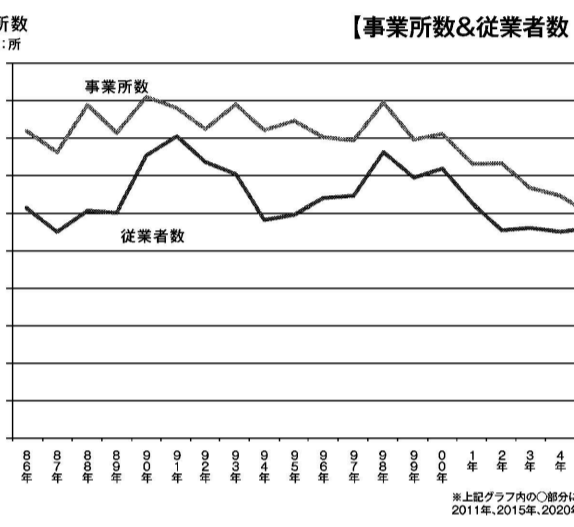
金型は製品の大量生産に欠かせないモノづくりの基盤技術（サポーター）である。部品や製品の母型となり、日用品や自動車、電化製品などあらゆる分野で用いられている。膨大な利用回数に耐えながらも均質な製品を作り続ける精度が求められる。自動車産業を中心に、モノづくりの一大集積地である中部地区では、同時に金型産業でも中心の地域として発展してきた。経済産業省が発表した最新の経済センサス活動調査によると、国内の金型生産

モノづくりを支える基盤技術 自動車産業中心に中部地区で発展

金型は製品の大量生産に欠かせないモノづくりの基盤技術（サポーター）である。部品や製品の母型となり、日用品や自動車、電化製品などあらゆる分野で用いられている。膨大な利用回数に耐えながらも均質な製品を作り続ける精度が求められる。自動車産業を中心に、モノづくりの一大集積地である中部地区では、同時に金型産業でも中心の地域として発展してきた。経済産業省が発表した最新の経済センサス活動調査によると、国内の金型生産

内燃系部品減少、 中小メーカーに打撃

また、自動車産業のたアンケート調査によくと、内燃系部品の金型がアルミニウムによる減少すれば業界にとっても大きな打撃となる。日本金型工業会が会員企業に行つた調査によると、内燃系部品の金型がアルミニウムによる減少すれば業界にとっても大きな打撃となる。日本金型工業会が会員企業に行つた調査によると、内燃系部品の金型がアルミニウムによる減少すれば業界にとっても大きな打撃となる。



軽切削 から 難切削 まで
タイヤ成形用金型、プレス・ダイキャスト・ゴム金型

3Dスキャナー・レーザー表面改質機・5軸加工機など各種設備保有

株式会社 日章
 〒480-0126 愛知県丹羽郡大口町佐々木2丁目100番地
 TEL0587-95-6600 FAX0587-95-4838
 http://nissu-mold.com

INNOVATION AND SOLUTION

金型製造を新たな次元へ昇華させる
KOIDEの技術
 時代の先を見つめる革新性が、
 当社のソリューションです。

株式会社 小出製作所
 〒438-0825 静岡県静岡市駿東区1045番地
 TEL:0538-37-1147 FAX:0538-37-3341
 http://www.koide-net.co.jp/

HONESTON おまかせ下さい!! 特注金型部品・一品加工 **「1個づくり」**

想いをかたちにモノづくり

豊田・堤工場

主な設備
 ●CNCジグボーラー (安田工業)
 ●マシニングセンター3台 (ヤマザキマザック)
 ●マシニングセンター (オークマ)
 ●ワイヤ放電加工機2台 (三菱電機)
 ●CNC平面研削盤2台 (アマダ)
 ●3次元測定機 (ミツトヨ)
 ●非接触3次元データライザ (丸紅情報システムズ)
 ●3次元CAD/CAMシステム (C&G) 他

オネストン株式会社
 https://honeston.co.jp/

モノづくりの土台を支える

従来の86部品33工程必要だった部品生産が1工程で可能に。直近30年間を振り返るだけでなく、金型を製造する専用部と汎用部に分類された部品は、90年当時1万3000部あったのが、現在は約3割の4327部品に減少した。完成車メーカーにとっても、7事業所に減少した。同様の傾向は製造業の大きく減らすメリットでも見られる。北陸の大きな技術だが、中でも見られる。北陸の大きな技術だが、中でも見られる。北陸の大きな技術だが、中でも見られる。

新たな取り組みで 難局乗り越える

難局を乗り越えるべく、中部のメーカー各社はさまざまな取り組みを始めています。入江金型工業所（愛知県岡崎市）が進めるのは、小規模メーカー同士の協業だ。試作用金型分には、自動車メーカーにも力を入れる。11月、

以下は小規模メーカーだ。統計に含まれない3人以下で事業を営むメーカーも多く、小規模事業者が中心の金型産業にとって、自動車産業の大きな変化に対応することは非常に困難だ。しかし金型はモノづくりの基盤となる技術。こうした状況が続けば、自動車産業全体の力が弱まってしまふと懸念する声も多

1は市場ニーズに素早く対応するため開発期シニングセンター（M）間を短縮している。そのCや研磨機、ワイヤの増産能力を従来の5割を確保し、一部の増産を目指す。

アイシーエアース（岡谷市）も本社工場を移転し、金型事業に力を入れている。加えてハイブリッド車（HV）モーター用コイルの成形用治具など、新たな収益の柱として計画だ。

このほかにもギガキヤストへの対応を進めていくモノづくりを展るメーカーや、ロボットや医療分野など自動車産業以外の業界に事業を展開する企業もある。これまで培ってきた技術を生かし、積極的に取り組んでいく姿勢が重要となる。11月、

小ロット品から量産品まで処理品に合わせて最適な炉をご提案

小型真空熱処理炉 処理量：50kg/30kg
NVF-50P/30P

大型真空熱処理炉 処理量：1000kg/グロス
NVF-1000PC

受託加工承ります。

熱処理の見積り・工場見学 相談 ご連絡お待ちしております

CVDコーティング (TiC)(TiN/TiCN/TiC)
 ◎ **すべり性**
 ◎ **耐焼付性**
 ◎ **耐摩耗性**
 ◎ **耐腐食性**

真空熱処理
 ◎ 焼入れ、焼戻し、焼鈍、ハイス焼入れ **毎日**
 ◎ 大型品・長尺物、量産品大量処理 **OK**
 ◎ 貸切りテスト処理、物温制御処理 **対応**

中日本炉工業株式会社 ☎0120-38-5141

本社・工場 〒490-1203 愛知県あま市木折八畝割8 TEL (052) 444-5141 FAX (052) 444-1917
 熱処理技術部 TEL (052) 444-7561 FAX (052) 444-4683
 https://www.nakanihon-ro.co.jp info@nakanihon-ro.co.jp

関西 機械要素技術展 に出展します
 2023年10月4日(水)～6日(金)
 会場:インテックス大阪
 https://www.manufacturing-world.jp/kansai/je-jp.html